

会 議 録

(嬉野市審議会等の公開に関する要綱第9条関係)

		所管課	市民協働推進課
会議名 (審議会等名)	第2回嬉野市ひとにやさしいまちづくり推進協議会		
開催日時	平成28年3月25日(金) 13:30~14:45		
開催場所	嬉野市役所 嬉野庁舎 3-3会議室		
傍聴の可否	○可 ・ 不可 ・ 一部不可	傍聴者数	1人
傍聴不可・一部不可 の場合はその理由			
出席者	委員	吉川会長、田中幹副会長、水山委員、野辺田委員、江頭委員、山口委員	
	事務局	市民協働推進課長、市民協働推進副課長	
	その他		
会議の議題	1. 第1回協議会での主な意見について 2. 平成27年度の事業取組状況について 3. 平成28年度事業計画について 4. その他		
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> ・「第3回全国健康都市めぐり in 嬉野市」実施報告書 ・身近なユニバーサルデザイン(トイレ洋式化)推進事業実績 ・平成27年度UDおもてなし体制整備事業 ・平成28年度UDおもてなし体制整備事業計画 ・平成27年度佐賀嬉野バリアフリースターセンターの活動について ・公共施設のユニバーサルデザイン化無料相談(佐賀県チラシ) 		
審議等の内容	下記のとおり		

審議等の内容

(嬉野市審議会等の公開に関する要綱第9条関係)

		所管課	市民協働推進課
議題	1. 第1回協議会での主な意見について		
内容	第1回協議会で出された意見に対するその後の対応について、事務局より報告を行なった。		
審議経過	事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・「ゆっつらくん健康体操」の普及推進について 温度差はあるものの各地区の運動会や集会などの折に体操を行っている。また、行政放送である「うれしのほっとステーション」で定期的に放映を行うこととしている。 ・災害時の避難場所として指定されている小学校がバリアフリー化がされておらず、避難場所として活用が不便であるとの意見について、小学校の施設担当課である教育委員会にその旨の申し伝えを行なった。 	
その他			

審 議 等 の 内 容

(嬉野市審議会等の公開に関する要綱第9条関係)

		所管課	市民協働推進課
議 題	2. 平成 27 年度の事業取組状況について		
内 容	平成 27 年度に実施した事業について、資料に基づいて説明を行なった。		
審議経過	事務局 議長 事務局 委員 事務局 委員 事務局	<p>27 年度事業について、配布資料をもとに説明。</p> <p>ゆっつらくん健康体操の応募作品は見ることができる状態なのか。</p> <p>市ホームページから動画を閲覧できる。</p> <p>まちなか音声システムについて、利用者への周知はどのようにするのか。</p> <p>利用者は路線バスを利用して来られることを想定しており、バスセンターの降車場所付近に表示をすることとしている。バスセンターから豊玉姫神社、本通り、御歌屋、JRバス車庫、足湯、シーボルトの湯、を回ってバスセンターに戻ってくる。受信機はバリアフリーツアーセンターで貸し出しをする予定である。</p> <p>すでに整備できているのか。塩田津には導入するのか。</p> <p>整備は出来ているが運用は4月に入ってからとなる。塩田津は別の新システムの導入を検討したいと考えている。導入するに当たっては関係者との連携が不可欠となってくる。</p>	
その他			

審 議 等 の 内 容

(嬉野市審議会等の公開に関する要綱第9条関係)

		所管課	市民協働推進課
議 題	3. 平成 28 年度事業計画について		
内 容	平成 28 年度に実施予定の事業について、資料に基づいて説明を行なった。		
審議経過	事務局	28 年度予定事業について、配布資料をもとに説明。	
	議長	観光事業者側から要望はあるか。	
	委員	観光客からの直接的な要望は特に上がってきてはいない。	
	委員	27 年度は日帰りを含めて約 10 万人の観光客が来ており、この中でも外国人観光客の割合が増えつつあるため対応が必要である。	
	議長	観光協会UDおもてなしチームで、嬉野に来た外国人のための紹介動画を作成した。嬉野へ来てもらうための動画ではなく、来た方に満足をしてもらうための動画であり、今後への誘発に繋がると期待される。	
	委員	今ある指さし会話版について、使用者へのアンケートなどを実施して、より使いやすいものに変えていくことが必要ではないか。	
	議長	指さし会話版は現在のところ実際にはあまり活用されていない。バリアフリーツアースセンターで要望調査を実施し、各店舗の要望に応じた会話版を作成していく予定である。	
	議長	塩田津の外国人観光客の状況はいかがか。	
	委員	タイの方が増えつつあるように感じる。	
	委員	指さし会話版などを利用するのもよいが、スマートフォンの翻訳アプリの利用を紹介するのも有効と思われる。アプリ利用のための講習会などを実施してはいかがか。	
	議長	そのような講習会も有意義と思われる。	
	委員	筆談コミュニケーション体制確立について、筆談となると書くこともたいへんであるので翻訳アプリを使用するのが合理的ではないか。	
事務局	筆談コミュニケーションは聴覚障害者への対応を想定したものである。		
委員	先日、手話の講習会が実施されたが、今後は英会話などの講習会も必要ではないかと感じている。		
その他			

審 議 等 の 内 容

(嬉野市審議会等の公開に関する要綱第9条関係)

		所管課	市民協働推進課
議 題	4. その他		
内 容	佐賀嬉野バリアフリースターセンターの事業報告など		
審議経過	<p>議長 委員 議長</p> <p>議長 事務局</p>	<p>バリアフリースターセンターの活動状況については、別紙のとおり。書籍「バリアフリー温泉で家族旅行」で全国 25 か所の温泉旅館が紹介されているがこの内の 5 件は嬉野温泉である。嬉野のバリアフリー化が充実していることの表れと思われる。</p> <p>相談件数は増えているのか。 平成 25 年度が約 500 件、26 年度が約 350 件、27 年度は約 380 件であり、殆どが新規の相談である。</p> <p>4 月 1 日から障害者差別解消法が施行され、今回のような会議も誰でも傍聴可能な場所で開催する必要がある。 今後は塩田庁舎か文化センターで開催することとなる。次回は 28 年度の中旬頃に実施することになると思われる。</p>	
その他			